

◆ 中区内で実施する各局の主な事業

水防法改正に伴うハザードマップの改定	防災危機管理局
1 概要 令和3年の水防法改正により、中小河川が新たに浸水想定区域の指定対象に追加されたことを受け、愛知県において今後公表される浸水想定区域図を反映したハザードマップの作成を行います。 2 主な内容 ・ハザードマップの印刷データの作成 ・広報なごや等における水害リスクの周知 3 スケジュール 令和7年度末にデータを公式ウェブサイトで公表予定	

フレンドシップ事業	総務局
2026 年に愛知・名古屋で開催されるアジア競技大会・アジアパラ競技大会に向けて、地域住民向けに「大会を知る」、「国際理解」、「障害者理解」をテーマとした講座を開催することで、地域住民の多様性理解や共生社会への意識を高めるとともに、大会開催への機運を高めることを目指します。 【講座開催期間】令和 7 年 8 月～令和 8 年 8 月(※区によって開催日が異なる) 【実施主体】名古屋市内の 16 区役所 【実施内容】区ごとに「①大会を知る」、「②国際理解」、「③障害者理解」をテーマとした講座を地域住民向けに開催 【講座内容】 ①大会を知る「アスリートによる訪問事業」 アスリートがスポーツの楽しさや価値、共生社会の大切さなどを伝える講演を実施 ②国際理解「NIC 地球市民教室」または「JICA 国際協力出前講座」 外国人講師による出身国の文化を伝える講座や JICA 海外協力隊経験者による国際協力についての講演を実施 ③障害者理解「あいサポーター養成研修」 障害の特性を理解して、障害のある人に対して手助けや配慮を実践する「あいサポーター」を養成する研修を実施	

アジア・アジアパラ競技大会競技会場最寄地下鉄駅バリアフリー整備負担金

総務局

2026 年に愛知・名古屋で開催される第 20 回アジア競技大会、第5回アジアパラ競技大会に向けた、競技会場最寄り地下鉄駅のバリアフリー整備に係る交通局への負担金の支出です。

【対象駅】

- ・名古屋城駅
- ・丸の内駅

コミュニティセンター建設の設計(老松学区)

スポーツ市民局

地域住民と施設内容について協議し、コミュニティセンターの建設工事の設計を実施します。

【スケジュール(予定)】

令和7年4月～5月 住民協議
8月～令和8年2月 実施設計

新堀川における地下水利用

環境局

新堀川においては、水環境改善が課題となっており、緑政土木局、上下水道局、環境局の3局で連携して対策を進めています。

環境局では、水の環復活に向けて地下水を利用したまちづくりを進めており、新堀川の悪臭の原因のひとつである川底の酸素不足を改善するため、沿川において、地下水を放流する井戸等の整備工事を行います。(令和7年度内完成予定)

整備箇所:中区上前津2丁目(記念橋下流右岸)

中区富士見町(富士見橋上流右岸)



新たな路面公共交通システムSRTは、名古屋都心部の賑わいや回遊性の向上、また公共交通・歩行者中心のウォーカブルな空間形成を目指し、令和7年度後半に「東西ルート(名古屋駅－栄間)」の運行を開始する予定です。

令和7年度は、「東西ルート」運行開始に向けて機運醸成に取り組むとともに、アジア・アジアパラ競技大会開催時に導入を目指す名古屋駅－名古屋城間についても導入準備を進めます。

<SRTのトータルデザインと東西ルートの走行ルート・停車位置>



堀川における水上交通の活性化	住宅都市局
名古屋城から都心部を経て、熱田に通じる歴史軸の魅力を高めるため、堀川周辺の名古屋城、納屋橋、宮の渡し(熱田神宮)などの観光拠点を結ぶ堀川における水上交通への期待が高まっています。 こうした中、本市では、民間事業者による水上交通の事業化に向けて、平成30年度から令和2年度にかけて短期間の試験運航を実施しました。さらに、令和3年度から6年度にかけて、名古屋城はじめ周辺施設等とも連携を図りながら、名古屋城前と納屋橋間において、春と秋を対象に土日祝を中心として継続的な運航を実施しました。 令和7年度は、継続的な運航を行うなかで、さらに認知度向上を図るとともに観光商品としての確立に向け、令和6年度の検証結果を踏まえて、より集客効果の高い企画を実施します。 【令和7年度の事業概要】 持続的な運航に向けたモデルの試行 ・名古屋城前と納屋橋間において、春・秋(土日祝を中心)に継続的な運航を実施 ・名古屋城前と五条橋間において松江から無償貸与された新船舶を運航開始 ・名古屋城前と納屋橋間の便において、歴史・沿川施設等の船上ガイドの実施 ・夜の堀川を活かした企画や名古屋城連携プランなどの集客効果の高い企画を実施 ・名古屋城や乗船場周辺店舗との連携強化による観光客や一般市民の誘客 ・観光文化交流局を始め関係局と連携のうえ、水上交通を通じた堀川の魅力発信	

栄地区まちづくりプロジェクトの推進	住宅都市局
栄地区においては、平成25年に策定した「栄地区グランドビジョン」に基づき、久屋大通の再生を進めており、北エリア・テレビ塔エリアにおいて「Hisaya-odori Park」を開業するなど、賑わいの創出に取り組んでいるところです。 南エリアについては、令和6年度策定の久屋大通(南エリア)再整備構想に基づき、事業化に向けた検討調査を実施します。 また、北エリア・テレビ塔エリア及びオアシス21については、適切な管理運営を行い、各施設の連携による賑わいの相乗効果等を発揮しながら、栄地区の更なる魅力向上に努めていきます。 【実施内容】 (1)久屋大通の再生 (2)オアシス21の管理運営等	

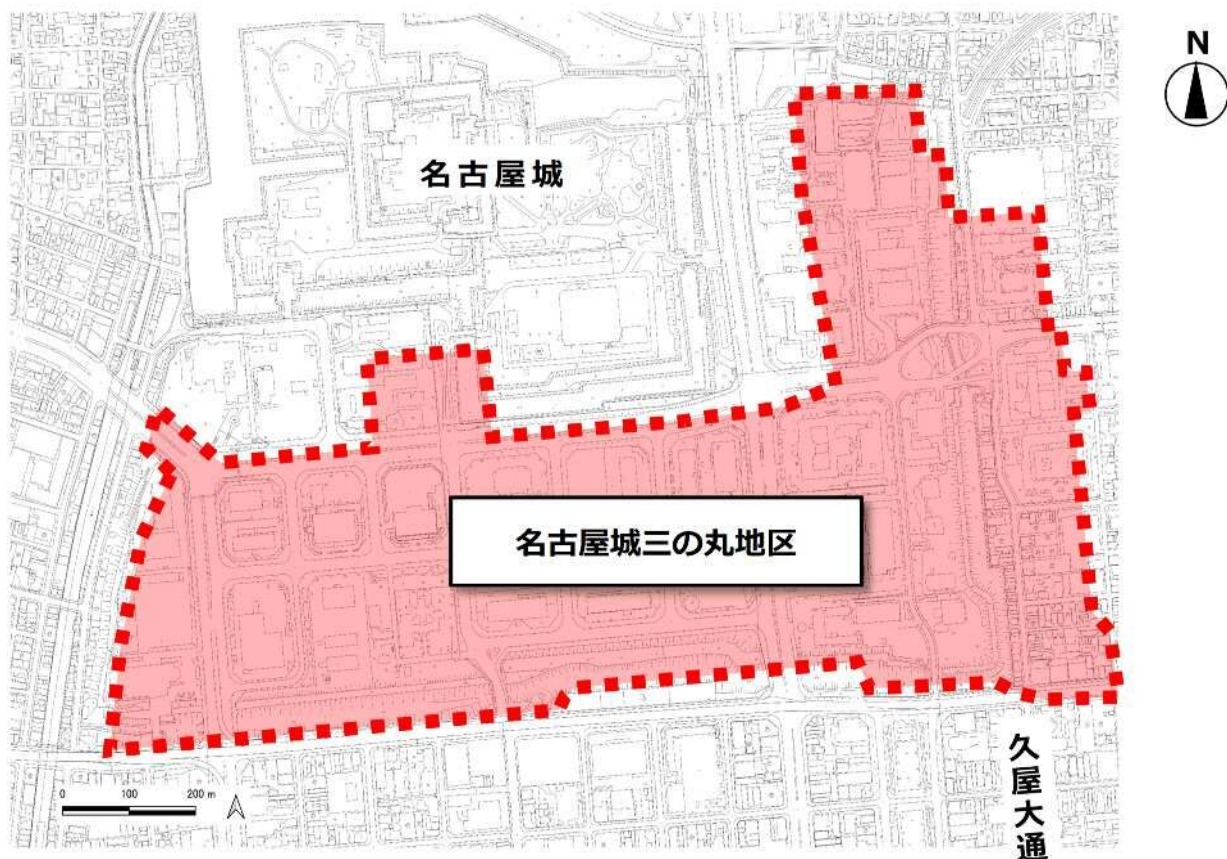
名古屋城三の丸地区は、名古屋城の郭内に位置し、都市計画や独自の建築ルールにより緑豊かな官庁街が形成されているが、建築物が更新期を迎えつつある。リニア開業後を見据え、民間活力の導入も視野に、恵まれた立地条件や地域資源を活かしてまちづくりを推進していくため、令和6年度から名古屋城三の丸地区まちづくり構想有識者懇談会を設置し、まちづくり構想について検討を開始しました。

令和7年度はめざすまちの姿や気運醸成に向けた取組み等の内容について検討を進め、まちづくり構想を作成します。

【実施内容】

- (1)まちづくり構想の作成
- (2)有識者等によるまちづくり懇談会の開催
- (3)まちづくりの気運醸成に向けた取組み

名古屋城三の丸地区 位置図



金山駅周辺においては、アスナル金山の再整備や新たな劇場の整備とあわせ、交通結節点に相応しい都市機能の集積や多様な文化芸術に触れられるウォーカブルなまちの形成を目指し、地域全体の価値向上やブランディングを図ります。

令和7年度は、アスナル金山エリア再整備の事業化に向けた検討を事業協力者(民間検討パートナー)と進めるとともに、都市再生推進法人であるまちづくり公社等と連携しつつ、地域全体でのまちづくりコンセプト「人・文化・芸術とともに育つまち」の実現に向けた施策を推進します。

また、地区の南北を結ぶ連絡通路橋について、多くの来訪者が訪れるアジア・アジアパラ競技大会を見据えたりニューアルを行います。

◆事業内容

(1)金山駅周辺整備の事業化推進

- ・アスナル金山エリア再整備基本計画案の作成
- ・にぎわい創出に向けた公共空間利活用の社会実験

(2)金山総合駅連絡通路橋リニューアル

- ・内部空間リニューアル工事の実施

(3)エリア防災計画の推進

- ・退避施設等の確保
- ・帰宅困難者対策協議会の運営等



錦三丁目 25 番街区の名古屋市所有地とJ. フロント都市開発株式会社の所有地を一体的に活用し、栄地区の魅力向上を先導する開発をすすめる。

令和 7 年度は、名古屋市所有地の引渡しを受けた事業者が引続き工事を進め、本事業が名古屋の国際競争力向上に貢献すること、また文化・交流を創出する導入機能と商業を有機的に複合することで、栄のブランド力向上に貢献することを目指していく。

今後のスケジュールとしては、令和 8 年 3 月に竣工し、夏頃の開業を予定している。

錦三丁目25番街区市有地等活用事業 開発区域図



(イメージ)



旧教育館の建物が解体されて更地となった跡地において、本格整備に先立ち、栄地区の賑わい向上に資することを目的に、令和5年度～令和9年度末までの約5年間、民間事業者による暫定活用を行うもの。

旧教育館跡地暫定活用事業 区域図



1 趣旨

令和元年度から開始した「地域防災マネジメント事業」について、令和6年度末で自助を促進するための戸別訪問事業を完了することを受け、新たな取り組みとして地域防災力の一層の向上を図ります。

2 事業概要

(1) 安否確認訓練の促進

大規模災害発生時に安否確認活動が速やかに実施できるよう、安否確認訓練が未実施の自主防災組織を中心に安否確認札等を活用した訓練の実施を促進します。

(2) 自主防災組織の活動支援の一環としての各戸啓発

寝室の家具転倒防止対策や、自主防災活動への参加を促進するため、自主防災組織単位で各世帯を訪問し啓発を行います。

(3) 起震車の運行委託

起震車搬送等を外部に委託して効率的な運行体制を整備することで、市民の自助への気付きの機会を増やすことができ、自助の促進につなげます。

(4) 自主防災活動のさらなる支援に活用する物品

自主防災組織の積極的な活動に資するための支援物品を拡充します。

地下鉄駅エレベーターの整備	交通局
地下鉄伏見駅におけるエレベーターの整備(工事) 令和7年度供用開始予定	

鶴舞線可動式ホーム柵の整備	交通局
庄内緑地公園駅から赤池駅までの19駅については、令和8年9月に開催される第20回アジア競技大会(2026／愛知・名古屋)までに供用開始できるよう、可動式ホーム柵の製造及び設置を実施します。 令和7年度は、伏見駅から原駅の12駅を順次稼働させます。 【製造、設置、稼働】 ・伏見駅、大須観音駅、上前津駅、鶴舞駅	

ホームと車両の段差・隙間の改善	交通局
車いすやベビーカーをご利用の方をはじめ、誰もが乗降しやすくなるよう、ホーム先端部のかさ上げ(スロープ化)やくし状ゴムの設置などを行い、ホームと車両の段差・隙間の改善を図ります。 【工事】 ・東別院駅(令和8年度完成予定) ※2番乗降口から17番乗降口の整備 【設計】 ・丸の内駅(桜通線)、久屋大通駅(桜通線)	

地下鉄駅ホームの冷房化	交通局
快適にご利用いただけるよう、駅ホームへの冷房設備の整備を進めます。 【工事】 ・名古屋城駅 ・鶴舞駅(令和8年度完成予定)	

地下鉄駅のリニューアル	交通局
明るく清潔感のある快適・便利な駅空間を提供するため、駅の壁・床・天井・照明などのリニューアルの工事を進めます。 【工事】 ・栄駅(名城線ホーム) ・東別院駅 令和9年度完成予定	

地下鉄駅のリフレッシュ	交通局
美観回復を図るため、駅の壁・床・天井などに特別清掃や塗装替え等を実施します。 【対象駅】 ・鶴舞駅 ・伏見駅(東山線・鶴舞線)	